

令和3年度感震ブレーカー設置のお願い

安城市議 石川 博 雄

① 火災原因は「電気」、対策は「感震ブレーカー」

地震を防ぐことは不可能です。しかし、被害を減らすことはできます。被害を減らすべき最たるもの、それは火災だと考えます。

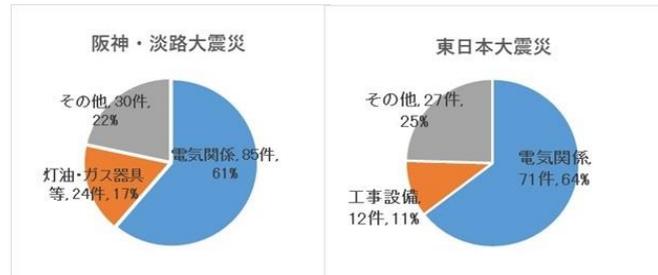
地震後の火災原因は、円グラフをご覧ください。原因は「電気」が過半数です。激しい揺れが屋内配線等を損傷させ、通電再開により、発熱・発火するのです。



人と防災未来センター(神戸市)

対策はあるのでしょうか？国が勧めるのは「感震ブレーカー」です。震度5強の揺れを感知すれば、ブレーカーが働き、自動的に電気を遮断してくれる機器です。

いつ地震が来るか、いつ通電再開するか、誰にも分かりません。そのとき、人がどのような状態であっても、自動的にブレーカーが電気を遮断し、安全な状態にしてくれます。



再びブレーカーを入れるのは、地震がおさまった後、屋内配線等の安全確認ができてからです。

② 安城市の「補助制度」※

※補助制度は、令和5年度まで延長され、3年度は150件に増加となりました。申込先着順です。

感震ブレーカーの設置費用は、分電盤タイプ(後付け型)で、およそ2~3万円。市の補助制度では、このうち1万円を補助してくれます。対象機種は、分電盤タイプ(内蔵型・後付け型)だけです。簡易なタイプもありますが、安定性を欠くため、対象外となっています。

補助を受ける手順は、次のとおりです。

- ①電気工事業者に自宅配線を見せて、機種を決め、見積書もらう。
- ②市へ①をつけて補助申請する。市から決定通知がくる。
- ③工事の前・後に写真撮影して、設置工事を行う。
- ④市へは③をつけて実績報告・補助金請求。市から口座への補助金入金。



③ 設置したひとの声

家族が高齢者なので、地震が心配

ろうでん
漏電ブレーカーも一緒に設置でき、割安にできた

自己負担は1万円余で済んだ

旅行や出張で留守のときも、ブレーカーが守ってくれるので安心

安城市内には、古い木造家屋が多くあります。高齢者だけの世帯や、隣に息子・娘の新築がある世帯も多くあります。火災を起こせば、古い家も新しい家も一緒に燃えてしまいます。家は無くなり、ローンだけが残る結果となってしまいます。大切な思い出も、親しんだ町並みも無くしてしまいます。

いま、わずかの出費でできる対策が、感震ブレーカー設置です。ぜひ安城市の補助金を活用して、感震ブレーカー設置をご検討ください。

なお、最後となりましたが、既に設置いただいた皆様には、心より感謝を申し上げます。

【問い合わせ 安城市役所 市民生活部 危機管理課 電話 0566-71-2220】